



長野県寿台養護学校運営のグランドデザイン【2022】

～学びの力で未来を拓き、夢を実現する人づくり～(第三次長野県教育振興基本計画)

【めざす学校像】(長野県特別支援学校重点目標)

- 一人一人の子どもの可能性を最大限に伸ばす学校
- 地域や企業とつながり、インクルーシブな社会をリードする特別支援学校

【学校教育目標】
知恵をたがやし
心をゆさぶり
体をうごかす

【学校長の願い】

- ♥ はじめに子どもありきの教育
- ♣ 自己実現を支援する教育
- ◆ 将来その子が精一杯生きるために 今育てたい力が身につくように
- ♠ 高い特別支援教育の専門性

まなび ことば からだ
「学たしか 心ゆたか 体げんき」

心ゆたか《あいさつ》 心力

- 人と関わりながら、生きる喜びを感じよう
- 豊かな感情と、それを表現できる力を伸ばそう
【はい・ありがとう・おはよう・いっしょに】

体げんき《体づくり》 体力

- いのちを大切に、健康な心と体をつくろう
- 自ら動いたり、働いたりすることを楽しもう
【体力づくり・掃除・交通安全・現場実習】

学たしか《自分から自分で》 知力

- できる、わかる体験で「自ら学ぶ」喜びをもとう
- 学んだことをつなげ、表現する力をのばそう
【自立活動・各教科等・現場(校内)実習】

【運営の重点】

今年の最重要重点

よりよい授業づくり

- (1) 徹底した児童生徒理解<アセスメントを活かす/多面的理解/事例研究/応用行動分析>
- (2) 合わせた指導のカリキュラム・マネジメント<学校生活づくり/願いの実現/児童生徒理解にたった授業>

1 教育課程の編制 (何を学ぶか)

(1) UD化

- ① 学びやすい環境づくり<ハード面整備>
- ② 生活しやすい環境づくり<構造化/視覚的支援の徹底/ソフト面充実>
- (2) チーム支援<同僚性の発揮/サポートチーム支援/事例研究/支援会議>
- (3) 特別支援教育の専門性<授業研究/研修体系/外部専門家活用事業/希望研修>

3 学習環境の充実 (どこで学ぶか)

2 教育課程の実施 (どのように学ぶか)

- (1) アセスメントベースの授業づくり<アセスメントに基づいた題材・活動・教材化・支援・学習集団、単位の工夫>
- (2) 子どもの願いの実現
- (3) 個別の指導計画を活かす <シラバスで評価/指導支援のPDCAサイクル>
- (4) UD化 構造化した生活・学習<日常生活指導・遊び・生単・作業学習・体育・個別学習他>

子ども

望ましい行動育成 (SWPBS)

4 保護者・地域との連携 (開かれた学校づくり)

- (1) 開かれた教育課程 <分かる授業/P T A活動の工夫/丁寧な情報共有と対話/学校公開/同窓会>
- (2) 特別支援学校のセンター的機能の発揮<特別支援教育の専門家としての自覚と責任/交流(校内、副学籍、地域校)/教育相談/支援会議>
- (3) 医療・福祉・地域との連携<専門家指導/相談/支援会議>
- (4) 社会とのシームレスな関係づくり<学びの連続性/校外学習・校外販売/就学・就労/福祉/養体連・特文連>
- (5) 関東病弱虚弱教育研究連盟長野県大会
- (6) 40周年記念事業